

県民の森 だより

9 2017
月号



増田児童センターのみなさん
(館内展示物でクイズを解いているところ)

発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

入園料：無料
利用時間：4月～10月/9時～16時30分
11月～3月/9時～16時

ハチの活動が活発になる季節です

働きバチが増えるこの季節は、特に攻撃性が強くなりますので、園内散策の際には十分お気をつけ下さい。ハチが寄って来ると、つい悲鳴を上げてしまったり、手で振り払ったり、走って逃げたりしてしまいがちですが、ハチは大きな音や素早い動きに対して敏感です。ハチが寄ってきたら頭を隠して低い姿勢を取り、じっと動かずハチが去るのを待ってから、ゆっくりとその場を離れましょう。



いつもご来園ありがとうございます のコーナー

松森NWキーツスのみなさん



毎週月曜日に県民の森をご利用頂いております。ポールにつけられたお揃いの旗が素敵です！代表の山下さんによると、結成日は2009年、お盆・年末年始2週間前後以外は毎週活動されているとのこと。

アカマツの道鶴が丘側入口が集合場所で、体験参加もできるそうです。連絡先(山下さん)：080-4512-1829

夏休み・クラフトづくり賑わいました



また遊びに来てね！

今月のけんみんのもり写真館 スペース広め スタッフが見つけたしぜんのはとコマ パージョン



ノブドウ(ブドウ科)
野葡萄

名前は野に生えるブドウからノブドウになりました。山地や野原などに生育するつる草です。花期は目立たず、秋には果実をつけ存在感を示します。果実は紅紫色・青紫色・青緑色と多彩で美味しそうですが、食べられません。(駒野)



ハナイカダ(ハナイカダ科) 花蓑
別名ママッコ・ヨメノナミダ

名前は花を乗せた葉を蓑に見立てたものです。雌雄異株の落葉低木で量的に少ないです。ユニークな果実が黒く熟してきました。果実は甘味があり、若葉は山菜として利用されます。(駒野)



ヤブマメ(マメ科) 藪豆

名前は藪(やぶ)に生育するマメからきています。つる性で林縁などに生育し、小さな白と紫色の綺麗な花は開放花で、他に閉鎖花と地下に閉鎖花の三種類の花を付ける珍しい植物です。種子はうずら豆を小さくした形です。(駒野)



カラハナソウ(アサ科)
唐花草

野生ホップとも呼ばれる日本固有の野生種で、雌雄異株。ビールの原材料となるホップは、同じ仲間のセイヨウカラハナソウのことですが、カラハナソウは苦みが少ないので、ビール造りには適さないのだとか。残念。(入岡)



県民の森名木紹介 vol.34 ウラジロノキ

樹名の由来は「葉のウラがシロい」事から、との事ですが葉表の明るい緑に対し、白っぽさが目立つ葉裏を見れば、名づけの理由に納得できます。園内には多くは無いですが所々にあります。

写真は中央記念館駐車場の南側、1号幹線沿いにある四阿のやや東側にあるものですが、高さ10m超の立派な一本です。(工藤)



オンブバッタ(オンブバッタ科)

顔にイボイボがあり、メスは体長45mm前後、オスは23mm前後です(下がメス)。よくまちがわれるショウリョウバッタは、メスが80～90mmほど、オスが50mm前後なので、大きさが一目瞭然です。(入岡)



ハネナシコロギス(コロギス科)

朝、記念館の掃除中に、翅はないけどすばしっこい謎の虫を発見。体長は15mm前後と小さく、長い触角が目立ちます。成虫になっても翅はなく、本来は夜行性のようです(先日も朝に見かけましたが…)。(入岡)

イベントのスケジュールなどは裏面「9月・10月のイベント情報」をご覧ください